

GIFA & METEC Indonesia、2023年に始動。新たな成長市場に参入

2023年9月13-16日、GIFA & METEC Indonesiaがインドネシア・ジャカルタにて初開催されます。これにより、成長著しいインドネシアの冶金・鑄造業界において業界のプロフェッショナル達が集う新しいマーケットが誕生し、業界のグローバルプレイヤーは魅力的な将来性の高いマーケットへのアクセスが可能になります。この新しいメッセを手掛けるのは、メッセ・デュッセルドルフグループで東南アジア市場を担当する子会社メッセ・デュッセルドルフ・アジア（MDA、拠点：シンガポール）と世界最大のメッセ会社インフォーマ・マーケットツの一部であるインドネシアのトップメッセ会社 PT Pamerindo Indonesia です。

GIFA & METEC Indonesia の開催により、メッセ・デュッセルドルフが4年に一度、デュッセルドルフで「The Bright World of Metals」として手掛ける GIFA、METEC、THEMPROCESS、NEWCAST の業界 No.1 メッセのうち、「冶金・鑄造技術」のポートフォリオを拡大させます。また、世界各国で開催されているサテライトイベントは各地で重要な市場を創出しています。2004年に初開催となった METEC India に続き、GIFA & METEC Southeast Asia はタイで2022年10月に初開催となり、この GIFA & METEC Indonesia が次のマイルストーンとなります。

【成長市場にフォーカス】

メッセ・デュッセルドルフ社、代表取締役社長ヴォルフラム・N・ディーナーは、「私どもは、アジア、南米、アフリカを問わず、最大のポテンシャルがあるところに出て行きます。ここは産業やインフラへの投資需要が大きく、そのための専門的な取引やネットワークのプラットフォームが必要とされています。現地の産業、市場の経済成長、そして私どものグローバルなお客様にとっても、新たなビジネスチャンスにつながります。このようにして私どもはビジネスの重要なパートナーであり続け、デュッセルドルフの業界 No.1 メッセのリーディング・ポジションを強化することができます」とメリットを強調します。

メッセ・デュッセルドルフ・アジアの代表取締役社長 G. リングリングは、特にインドネシアの重要性を説いています。「インドネシアは G20 のメンバーであり、東南アジアで最大、そして世界でも第 10 位の経済規模を誇ります。予測では、さらに成長が見込まれるとされています。インドネシアは着実にその地位を確立していくでしょう。数多くのインフラプロジェクトや大規模な産業プロジェクトをインドネシアのあらゆる場所で目にする事ができます。メッセはこのサクセスストーリーの一部として一緒に成長することができるのです。」国際通貨基金 IWF は、2022年のインドネシアの国内総生産（GDP）の伸びを 5.4%、さらに 2023年には 6%に伸びると予

測しています。

全文（英語）は[こちら](#)

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1 ニューオータニ ガーデンコート 7F

TEL: 03-5210-9951 e-mail: mdj@messe-dus.co.jp